

ヌカカ (biting midges)

Culicoides obsoletus



翅(はね)に斑点と特徴があるニワトリヌカカ



据え置き型のライトトラップ

発生生態

ヌカカは、ハエ目ヌカカ科に属する体長が数mmほどの小型昆虫の総称です。全国に分布し、春から秋にかけて発生し一部の種類の雌成虫が家畜や人を吸血します。ウシヌカカはアカバネ病などのウシに異常産をひきおこす伝染病のウイルスを媒介し、ニワトリヌカカはロイコチトゾーン病というニワトリに貧血や産卵率の低下をひきおこす伝染病の原虫を媒介します。

防除対策

京都府では、畜産センターが考案したブラックライトを利用して誘引したヌカカを、モーターファンで吸引し、網袋で捕獲するトラップが、養鶏農家で使用されています。トラップ設置により、ヌカカを含む多くの衛生害虫が捕獲できます。